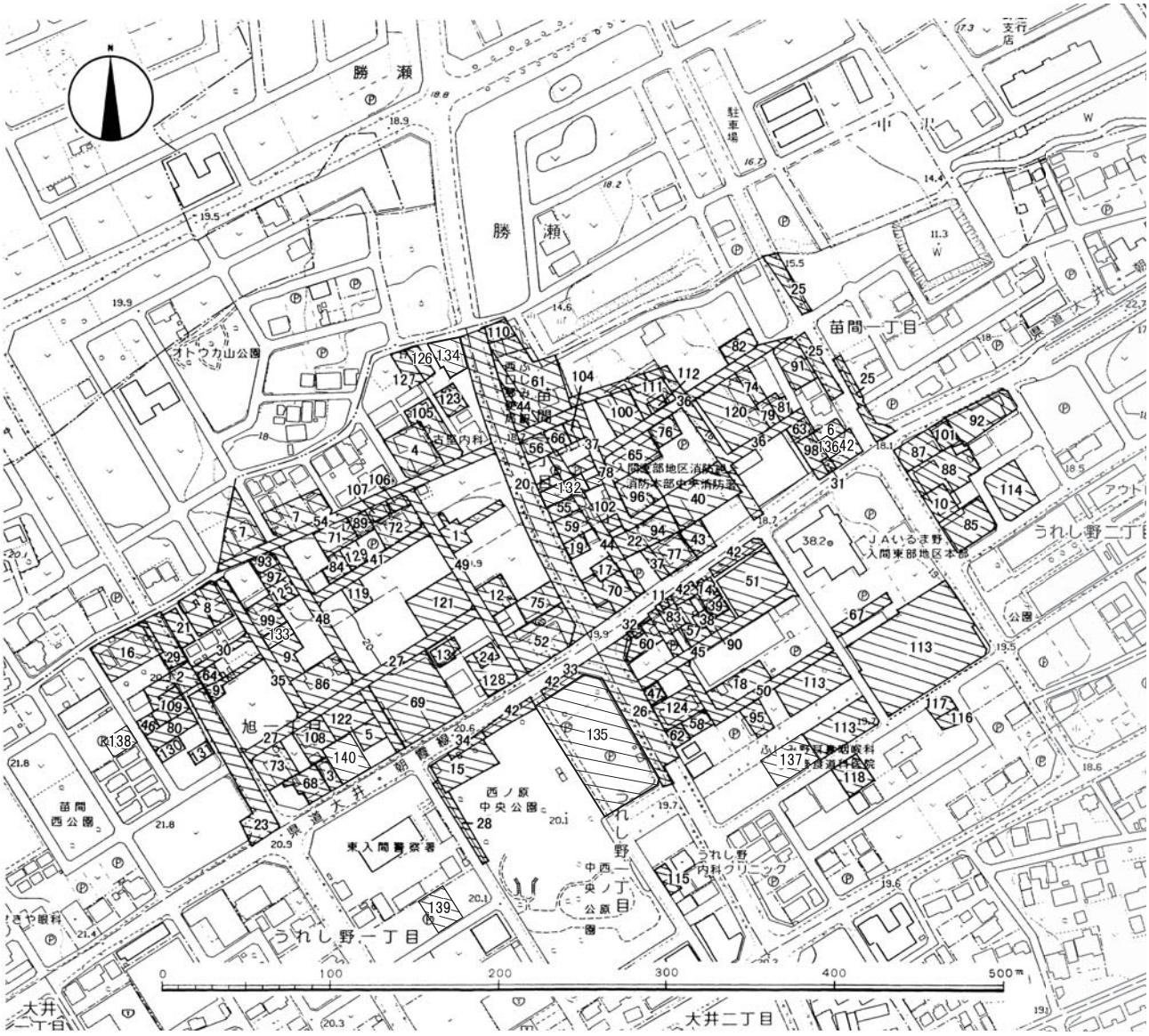
第15章　西ノ原遺跡の調査

Ⅰ　遺跡の立地と環境

西ノ原遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の南西約300m、さかい川の谷頭部から約500m下った右岸、標高18～21mに位置する。さかい川は現在の富士見市勝瀬字茶立久保付近に湧水源を持つ伏流水で、東から西へ流れて入間川の支流新河岸川に注ぐ。かつては水量も豊富であったと言われるが、現在は下水路となっている。西ノ原遺跡とさかい川との高低差は２～３mで、武蔵野台地縁辺で一段低い部分、さかい川が侵食によって作り出した低位台地上に立地する。

周辺の遺跡は、下流に中沢前遺跡が隣接し、さらに下流域には神明後遺跡、苗間東久保遺跡、浄禅寺跡遺跡等縄文時代の集落が存在する。さかい川対岸には東久保南遺跡と富士見市のオトウカ山があり、その下流には縄文時代中期後半集落の中沢遺跡が広がる。

本遺跡は昭和40年代頃までは武蔵野の面影を残す農村地帯であったが、区画整理事業とふじみ野駅の開設により、ここ数年開発の増加により遺跡の破壊が進んでいる。と、同時に発掘調査も遺跡面積10haの約40％が調査されてきている。1971年以来2008年１月現在で141地点に及ぶ調査で明らかになった遺跡の時期は、確認された遺構と遺物から旧石器時代、縄文時代早期・中期・後期、平安時代、中世、近世である。特に縄文時代中期には、180軒を超す住居跡が環状集落として形成され、市内において東台遺跡と共に中期全般を通した良好な大規模集落跡であったことがわかる。



第41図　西ノ原遺跡の地形と調査区（1/4,000）

Ⅱ　西ノ原遺跡第135地点

（１）調査の概要

調査は共同住宅の駐車場建設に伴うもので、原因者より2007年９月18日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡中央部に立地し、2006年５月29日から６月19日（試掘調査は同年３月14日から４月28日）まで共同住宅本体部分の本調査を行なった場所の北側部分にあたる。このため申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2007年11月５日から12日まで行なった。幅１ｍと２ｍのトレンチ２本を設定し、重機で表土除去後、人力で表面精査を行なった。

調査の結果、縄文時代の土坑１基、ピット３基を確認した。旧石器時代の確認調査は行なっていない。写真撮影・遺構測量等記録保存を行なったうえ埋め戻し、調査を終了した。

（２）遺構

土坑とピットは覆土層の観察から縄文時代とみられる。

第31表　西ノ原遺跡第135地点土坑・ピット一覧表

（単位cm）

遺構名	平面形態	確認面径	底径	深さ
土坑	不明	(146×55)	(144×50)	37.4
P1	不明	(27)×26	(15)×10	40.5
P2	円形	26×24	16×15	44.7
P3	不明	37×(15)	12×(5)	16.6

Ⅲ　西ノ原遺跡第140地点

（１）調査の概要

調査は学習塾建設に伴うもので、原因者より2007年４月25日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の中央部に位置し、北側に隣接する第122地点では縄文時代中期の住居跡と遺物が出土しているため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は同年５月７日から10日まで行なった。幅２～2.5ｍのトレンチ７本を設定し重機で表土除去後、人力による表面精査を行なった。調査区南側で県道に並行するように砂利が広がる旧道路跡を確認したが、縄文時代の遺構は確認されなかった。なお、旧石器時代の確認調査は行なっていない。写真撮影・全測図作成等記録保存を行なったうえ埋め戻して調査を終了した。

Ⅳ　西ノ原遺跡第141地点

（１）調査の概要

調査は店舗兼事務所建設に伴うもので、原因者より2007年４月23日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の範囲外に位置するが申請者と協議の結果、遺構の分布を確認し遺跡範囲を明らかにするための試掘調査を実施した。試掘調査は同年５月８日、９日に行なった。幅1.7ｍと2.7ｍのトレンチ２本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行なった。

調査の結果、土坑１基を検出した。遺構の時代は、覆土層の観察から縄文時代の落とし穴や風倒木痕と類似するが、出土遺物はない。ピットも覆土層が縄文時代のピットに類似するが出土遺物はない。

（２）遺構と遺物

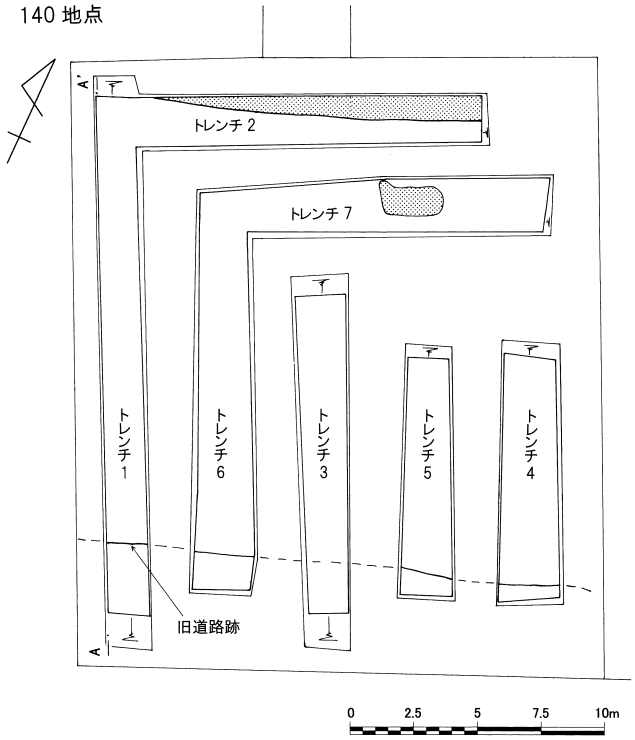
①土坑・ピット

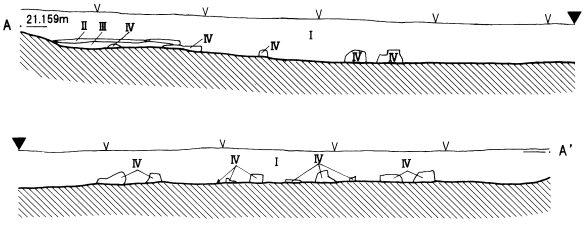
土坑の上幅は70～110cm、深さは70cm以上である。

ピットの平面形は楕円形で、確認面径33×25cm、底径18×15cm、深さ17.1cmである。

今回の試掘調査では、旧石器時代の確認調査は行なっていない。写真撮影・全測図作成等記録保存を行なったうえ埋め戻して調査を終了した。

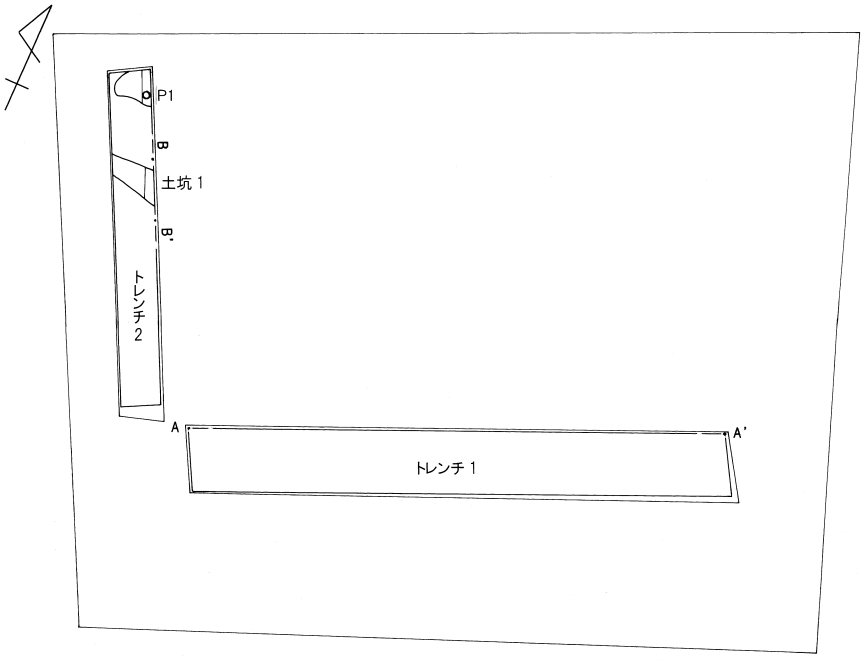
140 地点

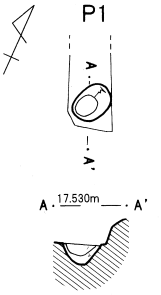




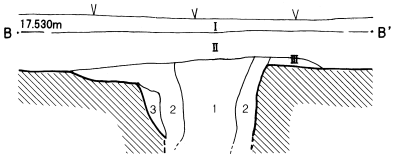
Ⅰ.黒色土　締り弱、粘性有、旧耕作土
Ⅱ.黒色土　締り強、粘性有、3 ㎝以下砂利多く含む、旧道路跡
Ⅲ.暗褐色土　締り強、粘性有、暗褐色土ベースにシミ状にロームを多く含む、ソフトローム
Ⅳ.褐色土　締り強、粘性有、地山ロームややソフト化している

141 地点

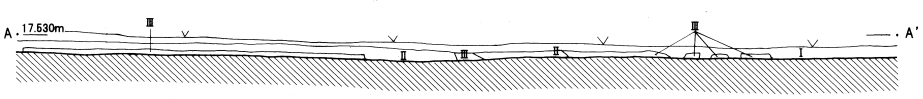




土坑 1



ピット 1
1. 黒色土　締り弱、粘性有、2mm 以下ローム粒少し含む
2. 暗褐色土　締り強、粘性有、ソフトロームベースにシミ状に
1 ㎝以下暗褐色土少し含む



Ⅰ.黒色土　　締り弱、粘性有、表土、耕作土
Ⅱ.黒褐色土　締り弱、粘性有、表土、耕作土(ロームブロック多く含む)
Ⅲ.褐色土　　締り強、粘性有、ソフトローム地山

土坑 1
1. 暗褐色土　締り強、粘性有、1mm 大ローム粒・焼土粒少し含む
2. 暗褐色土　締り強、粘性有、1 層よりやや明るく、5mm 以下シミ状ローム少し含む
3. 暗褐色土　締り強、粘性有、2 層とロームブロック(3 ㎝以下)斑状に含む
＊下端は未確認、縄文の落し穴 or 風倒木痕に土層類似
土坑 1 の平面プランは溝状にのびる

第43図　西ノ原遺跡第140・141地点遺構配置図（1/300）、土層図（1/150）、土坑・ピット（1/60）

西ノ原遺跡第140地点試掘調査近景

西ノ原遺跡第140地点試掘調査トレンチ１

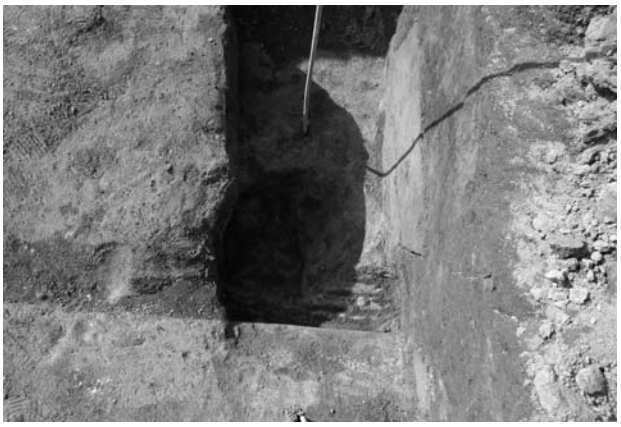
西ノ原遺跡第140地点試掘調査トレンチ２

西ノ原遺跡第140地点試掘調査トレンチ４・５

西ノ原遺跡第141地点試掘調査トレンチ１

西ノ原遺跡第141地点試掘調査トレンチ２

西ノ原遺跡第141地点土坑



西ノ原遺跡第141地点ピット